

<本田文子先生略歴>

専門は保健・医療の経済学。近年は、サブサハラ・アフリカと東南アジアを中心に研究を行う。医療費の財源、サービスへのアクセス、医療従事者のインセンティブとモチベーション等、多くの国で生じている保健・医療に関するさまざまな課題について、経済学を含む社会科学の分析枠組みや手法を用いて解き明かし、取り組みについて考える研究に従事。2009年から2017年まで、南アフリカのケープタウン大学に勤務。アフリカ、アジアの研究者、行政官、NGO等、さまざまな立場の同僚と協働を続けている。